

ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 61

- ★ 昭和館図書室の資料を紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問 戦後の闇市の様子が知りたい

答 「闇市」で検索してみます。

図書 → **ことばから調べる** → **闇市** (55件該当)

◇闇市の風景(主に写真)

- 『図説昭和の歴史 9 占領時代』(開架大型 210.7/Sh97/9)
- 『昭和日本史 13 昭和の風俗』(開架大型 210.7/Sh97/13)
- 『戦争と庶民 4 進駐軍と浮浪児』(開架大型 210.7/Se73/4)
- 『一億人の昭和史 日本占領 3』(開架大型 210.7/I17/6-5)

◇闇市について書かれたもの

- 『東京闇市興亡史』(開架 210.76/To46)
- 『MPのジープから見た占領下の東京』(開架 213.6/H32)
- 『東京路地裏<懐>食紀行』(596/F59)
- 『戦中派闇市日記』(開架 915/Y19)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・59

図書を集めるとき、単行本は一冊発見すれば良いのですが、雑誌は揃っていて意味があるので、欠号を長い時間をかけて探すことが多いものです。そして、この欠号というものが、案外な難物で、雑誌には増刊や別冊などというものがあるので、簡単に1年に12冊あれば揃ったというわけにはいかないのです。雑誌には、普通は巻号があります。巻は1年のグループで、号数は発行順の番号です。1年に12冊しか出されない年は番号と月が同じということです。ところが、増刊号が入ると、12月号が13号だったり、14号だったりするわけです。また、単純に通巻号を表記する時もあります。ただし、これも予告だけあって発行されなかった場合もあるし、ひどい場合には、通巻号を誤植して飛ばしている場合もあるのです。こんなときは、「幻の」欠号を探すということになります。筆者は戦前戦中の少年雑誌をいくつか集めていますが、「海洋少年」と言う雑誌も集めています。この雑誌には昭和17年に、2冊だけ増刊があることになっていて、そのうちの「日本の海軍」は手に入れていました。ところが、この雑誌の広告には、もう一冊「世界の飛行機」という増刊の広告が載っているのです。で、おかしなことに「日本の軍艦」の編集後記には、「海洋少年初の増刊」とはっきり書いてあるのに、「世界の飛行機」の広告にも同じく「海洋少年初の増刊」と書いてあるのです。はて？ とにかくこの「世界の飛行機」は、少なくとも筆者は見たことがなく、或いは未刊であったのか、と思っていました。ところが、この10月1日の高円寺の古書展目録にこの「世界の飛行機」が載っていたのです。あわてて注文し、当籤を祈りながら会場に行きました。幸いあたっていて、ピカピカの雑誌を手に入れました。興奮しました。で、真っ先に見るのが、編集後記です。・・・なんと、「一度に2冊の増刊を編集するのはたいへんだった・・・」と。おやおや・・・

それにしても、紛らわしい広告です。それでも、長年の胸の支えが降りて、すっきりしました。こんなことで悩んでいるなんて、筆者は変ですかね。

(午睡)



—図書室から—

「週末になると台風？」というように、各地で猛威をふるい、傷跡を残していった今年でした。熊の出現も相次ぎ、これも台風が一因とのこと。自然は計り知れませんね。

*忘れ物にご注意ください。

お帰りの際には、利用した閲覧テーブル、椅子等周辺をご確認ください。身の回りの持ち物（帽子や筆記具）の忘れ物にはご注意くださいようお願いいたします。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 61
2004年10月22日 発行
編集・発行 昭和館 図書室
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1